

事務事業名	シティセールス事業			事業コード	02010132101
所管部署	シティセールス推進室	電話	0776-50-2082	記入者名	松本 隆
事業対象					
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	アンケート調査業務、プレスツアー業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市の魅力や地域資源などを戦略的に広く市内外に情報発信することにより、市のイメージや知名度の向上及びシビックプライドの醸成を図り、市外の人や企業から選ばれるまちを目指します。				
	プレスツアーの開催やニュースレターの発行などにより、本市の魅力を戦略的に市外に発信しました。また、都市イメージ調査の実施により、本市の強み、弱みを把握するとともに、職員への研修会を実施し、シティセールスに対する意識の研鑽を行いました。				
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅 費（職員研修等） 255,930円</li> <li>○需用費（事務消耗品） 426,359円</li> <li>○委託料（都市イメージ調査、プレスツアー） 3,780,000円</li> <li>○使用料（PC等事務機器借上料） 93,744円</li> <li>○備品購入費（広報用カメラ購入） 166,320円</li> <li>○負担金（職員研修会参加負担金） 41,040円</li> </ul>				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費				
コスト	事業費		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	3,780	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	431	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	557	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	4,768	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	3.00 人	21,084	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	3.00 人	21,084	千円	人	千円	人	千円
			総事業費	25,852	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			25,852	千円	千円	千円	千円			
財源合計			25,852	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	%	目標値	5.0	達成率	達成率	達成率
		実績値	5.0	100	---	
活動	回	目標値	100	達成率	達成率	達成率
		実績値	77	77		
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐできる改善提案	ペイドパブリシティ（新聞社や雑誌社等に対価を支払い、記事風の体裁で出される広告）に頼らない魅力的なPR資源の発掘と効果的な発信を行います。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	ニュースレターの定期的な発行により主に首都圏のメディア関係者に対し、本市の旬で魅力的な話題や情報を提供しました。また、H26年度では本市初となるプレスツアーを実施し、首都圏のメディア関係者を本市に招き、直接的にその魅力に触れていただきました。
中長期的に取り組むべき改善提案	本市の魅力情報を市内外に発信し、市民においてはシビックプライドの醸成を図り、市外の人には憧れを感じてもらえるようなシティセールス活動を推進します。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	行政だけでなく、市内の学校、市民団体、企業などと連携を図り、オール坂井市で本市の魅力を市内外に向けて発信します。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在少子高齢化に伴い人口減少問題に直面しており、坂井市に於いても定住促進、交流人口の増加を図っていくことが重要であり、シティセールス事業の中で市の魅力度や知名度の向上に向けた事業の企画、推進に取り組んでいきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成26年度より取り組み始めた事業であり、全庁体制また市民や各種団体とも取り組んでいく必要があるため現段階では市が実施主体で進めていきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	戦略的な広報・宣伝などの事業を企画推進する中で他部署との連携を図りながら検討します。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	事業を企画推進する中で他部署との連携応援体制を含め検討します。			
すぐできる改善提案	職員に対するシティセールに対する意識の啓発			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		